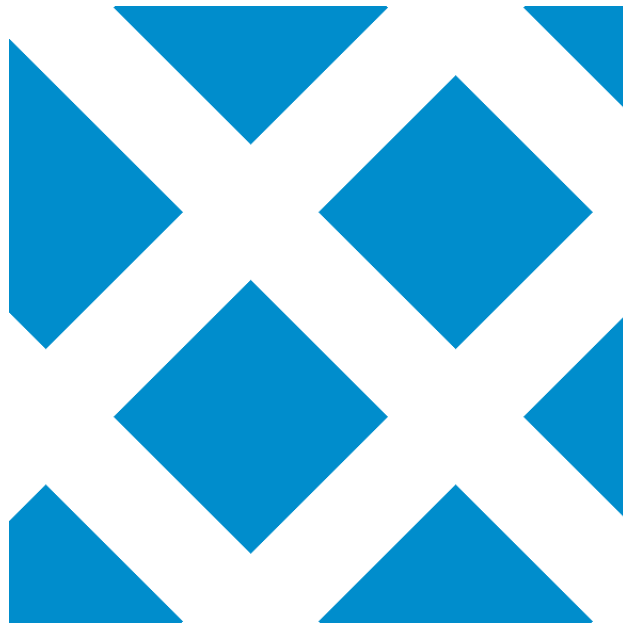


教育委員会事務の点検・評価報告書

(令和2年度)



令和3年9月
萩市教育委員会

■ 目 次

1	教育委員会事務の点検及び評価の趣旨	1
2	点検及び評価の対象	1
3	点検及び評価の方法	1
4	点検及び評価の結果	2
	<事業点検・評価シート>	
No.1	小中学校における教育体制の充実及び児童生徒の学力の向上	2
No.2	小中学校における児童生徒の体力の向上	6
No.3	児童生徒の英語教育の充実	8
No.4	志教育の推進と地域とともにある学校づくり	9
No.5	教育環境の整備	12
No.6	市内高等学校の魅力化支援	15
No.7	生涯学習の基礎づくり	17
No.8	生涯学習の場とひとづくり	21
No.9	生涯学習によるまちづくり	24
No.10	生涯スポーツの推進	27
No.11	競技水準の向上	29
No.12	スポーツ人材の育成	30
No.13	スポーツの推進による交流人口の拡大及び地域の活性化	32
No.14	図書館運営を通じた官民協働及び読書活動の推進	34
No.15	家庭・地域・学校・図書館での子どもの読書活動の推進	36
No.16	子どもの読書活動推進のための環境整備及び推進者への支援	39
No.17	読書活動への理解と関心を深めるための啓発活動	42

1 教育委員会事務の点検及び評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律において、教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないと定められています。

萩市教育委員会では、当該規定に従い、事務の点検及び評価を実施し、本報告書を作成しました。

2 点検及び評価の対象

次に掲げる事項を令和2年度の点検及び評価の対象として選定しました。

- (1) 小中学校における教育体制の充実及び児童生徒の学力の向上
- (2) 小中学校における児童生徒の体力の向上
- (3) 児童生徒の英語教育の充実
- (4) 志教育の推進と地域とともにある学校づくり
- (5) 教育環境の整備
- (6) 市内高等学校の魅力化支援
- (7) 生涯学習の基礎づくり
- (8) 生涯学習の場とひとづくり
- (9) 生涯学習によるまちづくり
- (10) 生涯スポーツの推進
- (11) 競技水準の向上
- (12) スポーツ人材の育成
- (13) スポーツの推進による交流人口の拡大及び地域の活性化
- (14) 図書館運営を通じた官民協働及び読書活動の推進
- (15) 家庭・地域・学校・図書館での子どもの読書活動の推進
- (16) 子どもの読書活動推進のための環境整備及び推進者への支援
- (17) 読書活動への理解と関心を深めるための啓発活動

3 点検及び評価の方法

前項に掲げる事項について、点検・評価シートにより、各項目の実施状況に係る成果を検証し、今後の取組について検討しました。

また、点検及び評価の実施にあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、萩市ひとづくり構想推進委員会において、意見をいただきました。

4 点検及び評価の結果

令和2年度 点検・評価シート

NO. 1

項目	小中学校における教育体制の充実及び児童生徒の学力の向上	担当課	学校教育課
目的・目標	<p>各学校の学力向上プランに基づく授業改善の取組を推進するとともに、校種間及び家庭・地域との連携・協働により、児童生徒に確かな学力を身に付けさせる。また、児童生徒数の推移を鑑み、小規模校における複式指導の一層の充実を図る。</p> <p>また、いじめや不登校等の生徒指導上の諸課題に対して、専門家との連携を図りながら、子ども相談・支援室を中心とした生徒指導・教育相談体制の充実を図り、学校の組織的な対応を支援する。</p>		
実施状況・成果	<p>1 小中一貫教育の推進</p> <p>(1)小中連携カリキュラムを作成している中学校区</p> <p>令和2年度 100% (目標値: 100%)</p> <p>各中学校区とも、小中連携カリキュラム(学校・地域連携カリキュラム)を基に、小学校と中学校の「縦のつながり」を大切にし、義務教育修了時のめざす子どもの姿を学校・家庭・地域で共有し、小中9年間で一貫した教育活動を展開することができている。</p> <p>(2)学校・地域連携カリキュラムを作成している中学校区</p> <p>全ての中学校区で学校・地域連携カリキュラムを作成し、学校と地域社会との「横のつながり」を大切にし、小学校と中学校が、共通の教育目標のもとで地域社会とともに「めざす学校像」を共有し、9年間を見通した教育課程を編成して、各学校と地域社会がともに手を携えて系統的な学びをめざしている。</p> <p>○小中一貫教育校として認定している学校</p> <p>三見小中学校、大井小中学校、大島小中学校、相島小中学校、見島小中学校、福栄小中学校</p> <p>2 主体的・対話的で深い学びの実現、複式指導の充実</p> <p>(1)全国学力・学習状況調査実施全教科において全国平均を上回る。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、<u>全国学力・学習状況調査が中止となり、その正答率による学力の状況、取組の検証等は実施できなかった。</u></p> <p>複式指導サポートブックを活用し、複式学習指導員による学校訪問及び指導助言を実施し、若手教員や複式指導未経験教員が効率的かつ短時間で複式指導</p>		

のノウハウを習得できるようになってきた。

3 いじめ、不登校、暴力行為等への対応

(1) いじめの解消率

令和2年度 小学校100%、中学校100% (目標値100%)

小中学校の生徒指導上の諸課題の解決に向け、子どもに関わる相談や支援の充実に努めた。

いじめについては、小学校で45件、中学校で70件（前年度件数：小学校74件、中学校85件）認知された。教育相談や生活アンケートを定期的に行い、児童生徒から出た意見や悩みについて迅速に対応することに努めた。また、学級活動や児童・生徒会活動において主体的に仲間同士で協力して取り組む活動の機会を意図的に仕組み、他者から認められ、他者の役に立つという「自己有用感」が感じ取れる絆づくりを進めることに努めた。このような取組を継続して行ったことが、いじめの認知件数の減少につながったと考えている。

認知されたいじめについては、早期にスクールカウンセラーを派遣しケース会議を開くなど、どのケースも学校全体で組織的に対応し、解消に努めている。

(2) 不登校、暴力行為の出現率・発生率の減少

児童生徒100人当たりの不登校・暴力行為の件数 ※（ ）内は前年度

・小学校：不登校 0.17 (0.49)、暴力行為 0.28 (2.77)

・中学校：不登校 3.74 (3.55)、暴力行為 0.43 (3.24)

不登校（年間30日以上欠席）の児童生徒数は、小学校で3人、中学校で35人（前年度件数：小学校9人、中学校34人）であった。不登校の理由は個別の事案ごとに様々であるが、関係機関と連携して対応した事案については、子ども相談・支援室が参加するケース会議を開催し、継続的な支援を行った。教室復帰をめざす児童生徒については、萩輝きスクールにおいて、経験豊富な6名の支援員が支援するとともに、保健師、児童相談所の心理士、医療機関等と連携し、当該児童生徒の保護者の支援に当たった。

暴力行為は、小学校で5件、中学校で4件（前年度件数：小学校51件、中学校28件）発生した。暴力が発生した原因としては、言葉によるコミュニケーションを苦手とする児童生徒が、他者の言動に対して感情的になり、暴力行為に直結してしまうことが挙げられる。件数が減少した理由としては、学校内や関係機関と連携しながら、個に応じた適切な支援等を行い、未然防止に取り組んだためであると考えている。

<p>今後の取組</p>	<p>1 小中一貫教育の推進</p> <p>中学校区単位でめざす子どもの姿や身につけさせたい資質・能力を共有し、地域の教育資源を生かした各地域ならではの特色ある教育の実現に向け、全ての中学校区で小中一貫教育を推進する。</p> <p>2 主体的・対話的で深い学びの実現、複式指導の充実</p> <p>授業評価について、適切に実施されるよう全小中学校に周知を図る。</p> <p>全国学力・学習状況調査等の結果について、誤答分析を行い、児童生徒の課題を把握するとともに、当該分析結果を授業改善に生かす取組を進める。</p> <p>一人一台端末の整備に伴い、これまでの学習指導に加えて、様々なアプリケーションを利用することにより、学習活動の充実を図る。特に「調べる・まとめる・練習する・発表する」などの学習活動に活用し、学習内容の理解を深めるとともに、進んで学習に取り組む児童生徒の育成を図る。一方で、研修会を開いて教職員のスキルアップを図り、また、家庭間の通信環境格差の解消に向けた支援を行うなどICT利活用を進めていく。</p> <p>引き続き、複式学習指導員による学校訪問を行い、特に、初めて複式指導に携わる教員を中心に指導助言を行う。</p> <p>3 いじめ、不登校、暴力行為等への対応</p> <p>いじめについては、子ども相談・支援室が継続的に全小中学校を訪問し、未然防止の取組を徹底するとともに、各校のいじめ対策会議に参加するなど、関係機関と連携を図り、いじめの早期発見・早期対応に努める。</p> <p>不登校の対応については、不登校の未然防止・早期対応の観点から、中学校区内で学校間の児童生徒の情報共有を緊密に行うことや、自己有用感を高める教育活動等を通じた児童生徒の居場所づくりや絆づくりの取組を推進していく。また、不登校対策に特化した会議を開催し、新規不登校を出さないために、講義や演習を通して教職員のスキルアップを引き続き行っていく。</p> <p>暴力行為への対応については、新規の発生を防止するため、中学校区内で学校間の情報共有に努めるとともに、教職員のスキルアップをめざした校内研修を充実させるため、専門家等との連携を図りながら進めていく。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<p>・いじめの解消率、暴力行為の件数については、数字上は改善しているように見えるが、コロナ禍において相談に行けない子や、保護者の段階で相談が止まっている子など、数値化されていない事案も想定される。また、言葉によるコミュニケーションがうまくとれず、暴力行為に発展する事案を耳にすることもある。暴力行為に怯えて、学校に行きづらい子、勉強に身が入らない子が出ないように、しっかりと</p>

対応され、子どもの落ち着いた学習環境の保障をお願いする。

- ・一人一台端末での学習活動の充実は良いことなので、ぜひ進めていただきたい。一方で、学校以外でもスマホ、パソコン、ゲームなどのメディアを使用する時間が増え、視力低下が心配である。利用時間に、ある程度ブレーキをかけるような取組を検討してほしい。

- ・目の体操をする時間を設けてはどうか。

- ・これまでの、施設一体型の小中一貫校では、中学校教員が専門的な教科を小学生に教えるなど、成果も出ており、うまくいっているように感じている。令和3年度から、川上で施設分離型の小中一貫校の取組が始まるので、分離型での小中一貫校での良い面、悪い面をしっかりと分析してほしい。

- ・小中一貫に加えて、地域では、保育園からも連携した取組が行われている。こうした良い取組を、先生が異動されても続けられるように、しっかり引継ぎを行ってほしい。

項目	小中学校における児童生徒の体力の向上	担当課	学校教育課
目的・目標	<p>各校で作成されている体力向上プログラムのもと、体育・保健体育の授業をはじめ、それ以外の時間にも、「一校一取組」により児童生徒の基礎体力の向上をめざす。健康増進課等と連携した食育を推進し、食生活の改善及び望ましい生活習慣づくりを通して、児童生徒の健康な身体づくりへの意識向上を図る。</p>		
実施状況・成果	<p>1 基礎体力の向上</p> <p>(1) 体力についての課題改善に、全校的に取り組む学校の割合 <u>令和2年度 100% (目標値: 100%)</u> 各校の児童生徒の体力的な課題に基づく運動を継続的に実施するよう指導した。</p> <p>2 望ましい生活習慣の形成</p> <p>(1) 毎日、同じ時刻に寝る子ども (定時就寝) の割合 <u>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学力・学習状況調査が未実施となったため、数値なし。</u> 食育指導を実施し、バランスよく食べることの重要性を指導した。 生活習慣のチェック及び改善を保護者と共に実施した。</p>		
今後の取組	<p>1 基礎体力の向上</p> <p>全国体力・運動能力、運動習慣等調査で明らかになった児童生徒の課題に基づき、必要な補強運動や適切な運動量の確保による基礎体力の向上をめざす。</p> <p>2 望ましい生活習慣の形成</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策を引き続き徹底して行うとともに、児童生徒がウィズコロナの新しい生活様式を身に付け、安心・安全な学校生活を送れるよう学校を支援する。</p> <p>望ましい生活習慣の確立をめざした取組を中学校区単位で行うなど、校種間連携により義務教育9年間の持続可能な仕組みを確立していく。</p> <p>保護者と連携し、朝食の習慣化や朝食内容の充実を図る。</p>		
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食に緑のものを取り入れる取組を進めてほしい。 ・萩市では、朝ごはんメニューコンテストが定着してきており、700件以上の応募があったと聞いている。朝ごはんに対する関心が高いものと思われる。こうした取組を継続して、子どもと親と一緒に朝ごはんに関心を持つ機会を増やしていただきたい。 		

・朝食の習慣化を進めることは、大変良いことと思う。保護者と連携して、少しずつレベルアップしていただきたい。また、朝ごはんを食べるために、就寝するまでの時間をどのように過ごし、早寝するかということをしっかり指導していただきたい。

項目	児童生徒の英語教育の充実	担当課	学校教育課
目的・目標	<p>グローバル化が進展する中、英語の語学力の向上はもとより、コミュニケーション能力や情報発信力、広い国際的な視野とともに、異文化への理解、異なる文化をもつ人々と協働して生きていく態度等を身に付けた人材を育成する。</p>		
実施状況・成果	<p>1 児童生徒の英語教育の充実</p> <p>(1) 中学校卒業時に英検3級以上に合格した生徒の割合</p> <p><u>令和2年度 28.8% (目標値：50%以上)</u></p> <p>英語を用いたコミュニケーションを体験する機会を充実させるため、小中学校へのALTの派遣、中学校への英語学習指導員2名の配置、中学校教員の小学校での乗り入れ授業等を実施した。</p> <p>コロナ禍で英検の受験機会が減ったが、中学生の英検3級以上の受験料について、全額補助を実施した。また、英検受験予定者を対象に、放課後英検チャレンジ教室を離島以外の中学校で開催した。</p> <p>教員の英語指導力を高めるために、英語教育に携わる全小学校教諭を対象に体験を通して具体的な指導法を学ぶ研修会を実施した。</p> <p>長州ファイブジュニア派遣事業については、新型コロナウイルス感染症の影響から中止したが、小学生を対象にしたイングリッシュ・キャンプを実施した。</p>		
今後の取組	<p>1 児童生徒の英語教育の充実</p> <p>英検について、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら受験を勧奨し、受験者数の増加はもとより、英語学習への関心及び意欲の向上に努める。</p> <p>教員の英語指導力を高めるため、小学校教員を対象にした英語教育研修会や夏休み英語スキルアップ研修を開催する。</p>		
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・萩市では英検受験料の補助などに取り組まれているが、大学受験を考えると、TOEICやTOEFLにも力を入れてもらいたい。せっかくの観光地であるので、英会話の力がある子どもを育ててほしい。 ・イングリッシュ・キャンプは生きた英語を学ぶ良い機会になるので、是非、続けていただきたい。 ・佐々並小学校では、オンラインで、県内の小学校だけでなく沖縄の小学校とも交流している。今後、時差があまりないオーストラリアやニュージーランドなどの国との交流も検討していただきたい。 		

項目	志教育の推進と地域とともにある学校づくり	担当課	学校教育課
目的・目標	<p>コミュニティ・スクールの仕組みを生かし、地域の人的・物的資源を有効活用した学習活動を通して、郷土に誇りと愛着をもち、地域に貢献する子どもたちの育成をめざす。生まれ育った萩のことを様々な観点から学び、地域社会の一員として自覚をもち、自分にふさわしい生き方を実現しようとする意欲や態度、能力を育成する志教育を進める。</p>		
実施状況・成果	<p>1 キャリア教育の推進</p> <p>(1) 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合の向上</p> <p><u>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学力・学習状況調査が未実施となったため、数値なし。</u></p> <p><u>(計画策定時：平成30年度 小学校88.0%、中学校78.5%)</u></p> <p>各校とも新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を十分講じた上で、二分の一成人式や立志式をはじめ、職場見学・職場体験、職業講話を実施しており、生まれ育った萩のことを様々な観点から学べるような機会を提供した。</p> <p>地域の農事組合法人等と連携して田植え、稲刈り等の体験を実施したほか、地域に誇りと愛着をもって働く人々と接することで、萩を誇りに思う心情の育成に努めた。</p> <p>2 コミュニティ・スクールとしての取組の充実</p> <p>(1) 地域の行事に参加する児童生徒の割合の向上</p> <p><u>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学力・学習状況調査が未実施となったため、数値なし。</u></p> <p><u>(計画策定時：平成30年度 小学校83.2%、中学校76.5%)</u></p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大により、児童生徒の地域行事への参加・協力の機会は減ったが、学校運営協議会においてこれまでの取組を見直す熟議を行うなど、小中一貫教育の実現に向けてよりよい教育活動になるような協議を進めた学校が多かった。</p> <p>3 ふるさと学習の展開</p> <p>(1) 地域の自然・歴史・文化・産業・人材を活用した学習を実施する学校の割合</p> <p><u>令和2年度 100% (目標値：100%)</u></p> <p>地域を学習の場として地域人材を活用した教育活動を展開し、地域の歴史、自然、産業等を継承・発展させる心情を育む取組を実施した。</p>		

	<p>① 明倫小学校、椿東小学校 松陰教学及び松下村塾の志を取り入れた教育</p> <p>② 大島小中学校 萩大島ふるさと創造科を基軸としたキャリア教育</p> <p>③ むつみ小学校 コミュニティ・スクールの仕組みを生かした農業体験学習</p> <p>④ むつみ中学校 豊かな森林資源を活用した体験学習</p> <p>⑤ 須佐中学校 須佐地域の魅力再発見プロジェクト</p> <p>⑥ 川上小・中学校 阿武川学習を通じた教育の推進</p> <p>萩市内の優れた文化施設及び文化財等を学校教育で活用する体験学習を実施した。また、小中学生に副読本（小学3年生「わたしたちのふるさと萩」、小学4年生「松陰読本」、中学1年生「郷土 萩」）を配布し、副読本を活用したふるさと学習を実施した。</p> <p>施設見学実績 ① 萩博物館 6校 ② 萩・明倫学舎 4校 ③ 世界遺産関連地 3校 ④ ジオパーク関連地 5校 ⑤ 山口県立萩美術館・浦上記念館 2校</p>
今後の取組	<p>1 キャリア教育の推進</p> <p>キャリア・パスポートの活用を通して、子どもの成長を異校種との連携や地域とのつながりの中で実感できるような支援に努めていく。</p> <p>また、社会や地域の一員としての自覚をもった子どもの育成をめざし、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」児童生徒の割合を増加させることを新たな成果指標として設定し、取組を強化していく。</p> <p>※適切な数値目標の設定に向けた研究を進めていく。</p> <p>2 コミュニティ・スクールとしての取組の充実</p> <p>「社会に開かれた教育課程」の理念の実現に向け、学校運営協議会の機能を生かした教育の充実に努める。めざす子どもの姿や身に付けさせたい資質・能力を共有し、熟議等を通して教育活動の検証・改善を進め、「学校・地域連携カリキュラム」のさらなる充実にめざした支援に努める。</p>

	<p>3 ふるさと学習の展開</p> <p>「学校・地域連携カリキュラム」を軸として、萩市の特色である世界遺産やジオパーク関連地など、萩の自然や歴史、文化等を活用した探究的な学びを推進する。また、令和3年度が副読本（小学校：「わたしたちのふるさと萩」、中学校：「郷土 萩」）の改訂の年度に当たり、新学習指導要領の趣旨を実現するふるさとへの誇りと愛着を育む心情を育てる。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと学習で、萩・明倫学舎に行くことが多いが、毎年、同じ内容の学習にならないように、学年が上がるにつれて、より深く、特に「志」の部分をしっかり学習できるようにしてほしい。 ・志教育には賛成である。小学生の時期は、萩のことを知る段階で良いが、中学生の時期では、地域をどうしたら維持していけるのか、萩市の人口をどうしたら増やすことができるかなど、地元のことを考える機会を与えることができるような学習活動を進めていただきたい。 ・職場体験学習で、興味があまりない職場に行く子もいると聞いている。バイオテクノロジーなど、従来型の農業にこだわらず、子どもたちが学びたいと思うような体験先を増やしていただきたい。また、なぜこの地域で、こういった商品を販売しているのかなど、地域に対する事業者の思いなどを聞ける機会を充実していただきたい。 ・学校によっては、身近に農業体験の場がない学校もある。田植えと稲刈りだけで学習を終えるのではなく、様々な農作業の過程を学べるように、身近で農業体験ができる場を探すなど、体験活動で終わるのではなく、学びにつながる取組を進めてほしい。

項目	教育環境の整備	担当課	教育政策課
目的・目標	安全な教育環境のもとで、児童生徒が安心して学習することを目指し、計画的な施設整備及び維持管理を実施するとともに、一人一台端末の整備を行い情報化の進展に対応した機器整備等を実施し、安全で質の高い教育環境の整備及び充実を図る。		
実施状況・成果	<p>1 学校施設整備・充実</p> <p>(1) 学校トイレの洋式化率（児童生徒20人当たり洋式便器数1.0以上） 令和2年度 <u>70.59%</u>（目標値：100%）休校中含む <u>77.42%</u>（目標値：100%）休校中除く 椿東小学校及び萩西中学校の特別支援学級用トイレの洋式化改修工事を実施した。</p> <p>(2) 学校施設照明のLED化率 令和2年度 <u>14.71%</u>（目標値：100%）休校中含む <u>16.13%</u>（目標値：100%）休校中除く 椿西小学校、萩東中学校、萩西中学校のLED設置工事を実施するとともに、明倫小学校、椿東小学校、越ヶ浜中学校、大井小中学校、田万川中学校のLED設置工事の設計を行った。</p> <p>(3) 児童生徒1人1台PC端末の整備率 令和2年度 <u>100%</u>（目標値：100%） GIGAスクール整備構想により、児童生徒に1人1台のタブレット端末を導入した。また、学校と児童生徒が双方向通信できるよう、モバイルルーター設備の導入に着手した。</p> <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予防保全事業 実施施設…萩西中学校屋内運動場、むつみ中学校屋内運動場 ・ 施設整備事業 <ol style="list-style-type: none"> 1. 椿東小学校……………廊下床修繕工事 2. 椿西小学校……………空調機設置工事、高圧気中負荷開閉器外更新工事 3. 多磨小学校……………職員室空調機更新工事 4. 越ヶ浜小学校……………多目的室空調機設置工事 5. 大井小中学校……………普通教室空調機設置工事 6. むつみ小学校……………多目的室空調機設置工事 		

	<p>7. 川上中学校……職員室エアコン改修工事</p> <p>8. 田万川中学校……湧水側溝設置工事</p> <p>9. 福栄中学校……間仕切設置工事、空調整備工事</p> <p>10. 川上学校給食共同調理場…空調機設置工事</p> <p>・感染対策事業</p> <p>蛇口改修工事に着手</p> <p>2 安心・安全な学校給食の提供</p> <p>(1) 県産食材使用率</p> <p><u>74.0% (目標値70%以上)</u></p> <p>食育及び地産地消の推進を図るため、萩産の食材を活用する「萩まるごと食べちゃろうデー」及び「地場産食材（県産100%）メニュー」を実施した。</p>
<p>今後の取組</p>	<p>1 学校施設整備・充実</p> <p>安全で快適な教育環境整備事業として、計画的な学校施設のLED照明への転換、特別教室等への空調設備の整備の検討及び障がい者、性的マイノリティの子ども達等への配慮として、洋式トイレ等の整備を実施し、教育環境の充実を図る。</p> <p>学校施設全体の洋式トイレ等の整備については、公共施設全体のトイレ整備方針を踏まえ、関係部署と調整し整備を進める。</p> <p>また、引き続き、計画的に電子黒板や教職員用のパソコンの更新を進め、教育環境の改善を図る。</p> <p>2 安心・安全な学校給食の提供</p> <p>産地情報交換会を毎月行い、引き続き「萩まるごと食べちゃろうデー」を実施する等、地元産食材の使用に努める。また、試行的に山口県の栽培基準をみたしている米と比較して、化学農薬・化学肥料を50パーセント以上低減して栽培され、山口県から「エコやまぐち農産物」として承認されている「エコ50米」を給食に使用できないか検討する。</p> <p>地域の特色を生かした献立を用いた食に関する指導を更に充実させ、地域の食文化についての理解を深めさせる。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<p>・電子黒板の整備については、以前から実施されているが、新しいものを導入した場合は、その活用状況について検証を行い、実情にあわせた整備を進めていただきたい。</p> <p>・低農薬の「エコ50米」の取組など、安心・安全な食材の使用を進めていただきたい。</p> <p>・食材とあわせて、学校敷地内の除草作業についても、極力、農薬の使用を避ける</p>

ようお願いします。

項目	市内高等学校の魅力化支援	担当課	教育政策課
目的・目標	<p>中学生が地元の高校に進学しやすい環境を整えることや、市内高校と中学校の連携強化を図ることにより、地元高校への進学率の向上を目指す。</p>		
実施状況・成果	<p>1 地元の高校へ進学しやすい環境の整備</p> <p>(1) 萩市内中学生の萩圏域の高等学校への進学率</p> <p><u>令和2年度市内中学校卒業生73.2% (目標値80%)</u></p> <p>高校に遠距離通学する高校生を対象にした列車・バス定期代の一部助成のほか、離島等に居住する通学困難な女子高生を対象とした女子寮の運営等、市内高校への進学を支援する事業を実施した。</p> <p>市内高等学校、市立中学校及び教育委員会が高校魅力化への方策を協議する場（高校魅力化プロジェクト会議）を設け、連携して市内高等学校への進学者確保のための取組を協議した。</p>		
今後の取組	<p>1 地元の高校へ進学しやすい環境の整備</p> <p>引き続き市独自の施策として、市内高校への進学を支援する事業を実施する。</p> <p>また、市内中学生とその保護者にアンケート調査を実施し、実情を把握することにより市内高校への進学率向上に努める。</p> <p>また、地域連携サポーターを増員配置し、高校の情報発信を行うなど、中学生が市内の高校へ進学したいと思う環境づくりを推進する。</p> <p>高校魅力化プロジェクト会議により、中学校、高校及び教育委員会の連携強化を図る。</p> <p>市内や市外、県外からの志願者が安心して市内高校に進学できるよう、高校生の住居確保の援助及び住環境の充実のため、高校生寮の整備について検討を進める。</p>		
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中学生への取組については、よく理解できたが、市外・県外の中学生を呼び込む取組も進めていただきたい。 ・送迎バスが迎えに来て、山口市の高校など、市外の高校に子どもたちが流出している。市と高校でしっかり連携をとって、高校の存続に努めてもらいたい。 ・スポーツでの市内高等学校への入学なども考えられるので、今後の寮の整備について、下宿の課題等を整理し、検討を進めてほしい。 ・コロナ禍において、都会からの移住希望者は増えていると思われるので、市外からの転校など、受入体制をしっかり支援してほしい。 ・現在の子どもたちが何を求めているのか、どのような学びの場を提供していくこ 		

とが魅力となるのか、世界の流れや未来を予測して、検討していただきたい。

項目	生涯学習の基礎づくり	担当課	文化・生涯学習課
目的・目標	<p>生涯にわたって、市民一人ひとりが学習しようとする意欲を高め、幼児期から成人期に至るまで、ニーズに応じた学習機会を提供する環境を整備する。</p> <p>とりわけ、親学講座等による家庭教育力の向上を図る取組、地域の中で受け継がれ、守られてきた文化や伝統を次代へ継承する活動への支援、学習成果を発表する場でもある公民館等の社会教育施設の整備の3点を中核に、市民と行政が協働した取組を推進する。</p>		
実施状況・成果	<p>1 家庭教育力の向上</p> <p>(1)親学講座、子育て講座、保護者カフェの開催</p> <p><u>令和2年度実施回数 37回（目標値：年間70回以上）</u></p> <p>（子育て講座26回（内保護者カフェ7回） 親学講座11回）</p> <p>令和2年度参加者数 717人（目標値：2,200人以上）</p> <p>保育園及び各小中学校の参観日、就学時検診等を活用した子育て講座及び公民館等における未就園児とその保護者を対象とした親学講座の実施により、子育てに係る悩みの解消を図る等、家庭での子育てを支援した。</p> <p>また、保護者同士の繋がりをつくり、不安を取り除くという目的のため、子育て講座において保護者カフェも同時開催した。（家庭教育支援チーム主催）</p> <p>(2)子ども情報誌「あ、そ、ぼ」の発行</p> <p><u>令和2年度 6回（目標値：年間6回以上）</u></p> <p>幼児から中学生までの子ども及び保護者を対象とした、様々な子育てイベント情報を提供する情報誌の発行を行った。（5,350部/回 発行）</p> <p>(3)NPO萩子どもセンター事業への支援</p> <p><u>令和2年度実施事業 194回（目標値：年間165回以上）</u></p> <p>子どもの諸活動支援事業（75回）、子育て支援事業（119回）、子どもと文化に関する活動広報紙（15,000部/年）の発行を行った。</p> <p>(4)家庭教育支援チームの立ち上げ支援</p> <p>令和2年度登録チーム数 3チーム</p> <p>萩市全体をカバーする家庭教育支援チーム「はぐくみ」の立ち上げを支援した。</p> <p>2 地域文化の継承及び保護・活用</p> <p>(1)伝統芸能フェスティバルの開催</p>		

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。

(目標値：出演団体数 11団体以上、来場者数 300人以上)

(2) 萩市美術展の開催

令和2年度出展作品数 小中学生の部 700点、高校・一般の部 97点
招待作家作品展示数 30点 計 827点

令和2年度入場者数 2,948人

市民の美術作品等を募集・展示する美術展を開催することにより、地域に根ざした文化・芸術活動の推進を図った。

(3) 伝統芸能・地域文化教室の支援

令和2年度実施小学校数 18校(100%)

各小学校で実施している、伝統芸能及びふるさとの歴史、史跡探訪等、調査、研究活動に対して、各公民館が協力、連携を行った。

3 市民協働による生涯学習の環境づくりの推進

(1) 社会教育施設の充実

公民館等施設の整備に係る整備内容の公表の実施

- ・大島公民館整備工事(供用開始予定 令和3年11月)

大島出張所、診療所との複合施設として整備する。

- ・川上公民館…屋根改修工事、消防設備、誘導灯修繕

- ・福栄農業担い手育成センター(紫福公民館)…非常照明、外灯修繕

ホール水銀灯取替工事

- ・旭活性化センター(佐々並公民館)…屋根、樋改修工事

- ・むつみコミュニティセンター(高俣公民館)…屋根改修工事、外灯新設工事、

ウッドデッキ改修工事

(2) 自主活動・市民活動の推進

合同作品発表会の開催

令和2年度出展団体数 82団体(目標値：15団体以上)

生涯学習の推進と個人又はグループの創作意欲の向上のため、日ごろの生涯学習活動の発表の場として、作品展を開催した。

(3) 生涯学習運営体制の充実

社会教育委員会議の開催 令和2年度 2回(目標値：年間3回以上)

公民館運営審議会の開催 令和2年度 23回(目標値：年間25回以上)

官民協働の生涯学習の推進のため、生涯学習への理解を深め、地域の課題や住

	<p>民のニーズを把握し、それを事業に反映させるため、社会教育委員会議等を開催し、生涯学習の推進に努めた。</p> <p>地域住民からなる公民館運営審議会を組織し、公民館における各種事業の企画運営について審議する等、住民と行政が意見を交えながら生涯学習を推進する体制を整備し、積極的な活動を実施した。</p> <p>(4) 市民協働による生涯学習の推進</p> <p><u>公民館まつり等の開催</u></p> <p><u>令和2年度参加者数 557人（目標値：年間12,000人以上）</u></p> <p><u>公民館運営審議会の開催 23回（目標値：年間25回以上）（再掲）</u></p> <p>公民館まつりを開催し、地域住民、団体相互の交流や活動の発表の場づくりを行った。</p>
<p>今後の取組</p>	<p>1 家庭教育力の向上</p> <p>様々な媒体を活用した情報発信を行うことで、安心して子育てができる環境を整え、これまでの取組をより充実・発展したものにす。また、子育て世代が孤立しないような体制を構築し、参加しやすい日程等の検討を行う。</p> <p>令和2年度末において、家庭教育支援チームが3団体登録されており、今後もやまぐち型家庭教育支援チームの立ち上げに向け、学校・家庭・地域と連携を深める。</p> <p>2 地域文化の継承及び保護・活用</p> <p>本市がもつ文化・芸術をより一層向上・普及させていくために、市民団体等による文化イベントの開催等に対する支援を継続していくことで、市民が文化・芸術活動に参画・鑑賞する機会を創出する。</p> <p>また、社会教育の立場から、地域ゆかりの文化資源や歴史・文化遺産の活用及び地域の中で継承されてきた伝統芸能、文化の保存を支援していくことで、市民一人ひとりのふるさとに対する愛着を育む。</p> <p>3 市民協働による生涯学習の環境づくりの推進</p> <p>各公民館及びコミュニティ施設の点検を実施し、引き続き、適切な施設管理を行い、必要に応じて、計画的に改修を進め、未耐震施設の整備・改修を含めた施設の延命化を図る。加えて、施設利用の利便性の観点から、バリアフリー化・トイレの洋式化などの整備について、計画的に取り組む。</p> <p>生涯学習の体制を充実させるべく、社会教育委員会議や公民館運営審議会の場において、生涯学習に係る課題や解決策を協議し、市民と協働した生涯学習の環境づくりを推進する。</p>
<p>学識経験者の</p>	<p>・家庭教育力の向上のため、子育て講座などを実施されているが、子育て講座に参</p>

意見	<p>加できない親が多く、こうした家庭の支援が課題であると思っている。保健推進員など、関係機関と情報共有して、講座に参加できない家庭の支援に取り組んでほしい。</p> <ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、親同士の交流の場が減少し、以前より情報を得られない保護者が増えていると聞くので、不安感、孤立感を持つ保護者のフォローが大切だと思う。
----	--

項目	生涯学習の場とひとづくり	担当課	文化・生涯学習課
目的・目標	<p>市民一人ひとりの多様な学習ニーズに応える学習機会を提供するとともに、学習を支援する人材や指導者の育成及び情報発信に積極的に取り組む。</p> <p>学習機会の提供においては、心豊かで健全な人格形成を図るため、地域、学校、家庭が連携し、各年代のニーズに応じた講座や教室の開設に向けた支援を行う。</p> <p>また、地域人材や地域素材を有機的に結びつけることで、次世代の育成に努め、多くの経験・知識・技能が継承される仕組みづくりを構築する。加えて、誰もが生涯学習の機会にふれることができる情報発信に努め、好機を逃さない情報提供に努める。</p>		
実施状況・成果	<p>1 ニーズに合った学習機会の提供及び学習成果を発揮する機会の創出</p> <p>(1) 公民館各種講座の開催 <u>令和2年度実施回数 307回 (目標値：年間450回以上)</u></p> <p>(2) 至誠館大学との共同講座の開催 <u>令和2年度実施回数 5回 (目標値：年間5回以上)</u> 各公民館等で、住民からの様々なニーズによる講座・教室の開設に努めた。</p> <p>2 青少年の生涯学習の推進</p> <p>(1) 未来を切り拓くひとづくりセミナーの開催 <u>令和2年度来場者数 1,240人 (目標値：年間1,000人以上)</u> (※会場270人、市内全中学校、2高等学校と会場をオンラインで結び970人が聴講) 2月4日開催 講師 アルピニスト 野口 健 氏 演題 「私の分岐点」 萩市ひとづくり構想を踏まえ、青少年等がこれからの人生の力となり、豊かな気持ちを育むヒントになることを願って開催した。令和2年度は新型コロナウイルスの感染状況により、1回の開催とした。</p> <p>(2) 放課後子ども教室の開催 <u>令和2年度実施回数 910回 (目標値：年間1,150回以上)</u> 市内全ての児童を対象として、安全・安心な子どもの居場所を設け、地域の方々の参画を得て、学習やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等を行った。</p> <p>(3) ユースふれあいスペース事業の実施 <u>令和2年度実施回数 146回 (目標値：年間130回以上)</u></p>		

県内では、萩市のみが実施する事業であり、様々な事情により高校等を中途退学や進学できなかった青少年に対し、居場所づくりを目的とした自立に向けた指導、支援を行った。

3 高齢期の学習活動の推進

(1) 高齢者教室・健康教室の開催

令和2年度実施回数 127回 (目標値: 年間170回以上)

(2) 高齢者教室作品展の開催

令和2年度出展作品数 40点 (目標値: 120点以上)

高齢者教室、健康教室等を開催し、健康疾病予防等に関する教育の機会や、生きがいづくりにつながる講座等の充実を図った。

4 地域の人材発掘と養成

(1) 放課後子ども教室の開催

令和2年度指導者登録数 111人 (目標値: 年間170人以上)

「地域の子どもは地域で育てる」を目標に、放課後又は休日に放課後子ども教室を開催し、安心・安全な居場所づくりを推進した。

5 生涯学習の情報発信

(1) 広報はぎ、公民館だより、FMはぎ等による情報発信の実施

令和2年度公民館だよりの発行回数 114回 (目標値: 年間110回以上)

生涯学習につながる各種講座、行事等について、各公民館だより、広報はぎ、ホームページ、まちづくりメニュー等の各種メディアを通じ、広く情報発信した。

今後の取組

1 ニーズに合った学習機会の提供及び学習成果を発揮する機会の創出

様々な年代のニーズに沿った学習機会及び学習内容の充実に努め、地域社会に貢献し、活躍できる人材育成のための学びの成果を披露する機会を提供する。

2 青少年の生涯学習の推進

ふるさとに誇りと愛着をもつ青少年の育成を進め、「高い志」と「生き抜く力」を身につけるための生涯学習の推進に努める。

3 高齢期の学習活動の推進

知恵や経験、技能を社会に生かし、次代へつなぐという崇高な目的の下、高齢期のいきがいとなる講座を充実する。

4 地域の人材発掘と養成

積極的に地域に参画する人材を掘り起こすとともに、人材育成のための時間を設け、その機会を創出する。また、地域の課題解決に向けて、子育て世代や生産年齢世代でも参加しやすい講座を企画する。

	<p>5 生涯学習の情報発信</p> <p>社会教育施設で開設される各種講座や行事を全世代に発信していくために、様々な情報媒体を駆使し、目的や成果を意識した活動が展開されるように努める。</p>
<p>学識経験者の 意見</p>	<p>・コロナ禍で、公民館に集まって活動することは難しい状況であるが、家庭でも生涯学習を続けることはできる。感染症が落ち着いた頃には、しっかり活動が再開できるよう準備を続けてほしい。青壮年層が高齢者になった時に、今のように地域の公民館に人が集まるか疑問である。地域コミュニティ活動の拠点となるよう、青壮年層が利用しやすい公民館運営をしっかりと考えてほしい。</p>

項目	生涯学習によるまちづくり	担当課	文化・生涯学習課
目的・目標	<p>市民・行政・関係機関の連携及び協働を図り、学習活動を通じた地域コミュニティの活性化によるまちづくりに取り組む。</p> <p>市民一人ひとりが地域の担い手として、自助・共助の精神を大切にしながら、地域の課題に参画していくため、各地域コミュニティ団体の活動を支援する。</p> <p>また、人権を尊重し合う共生社会の実現のため、市民一人ひとりが多様な人権課題に向き合えるような講座を開設する。</p> <p>さらに、公民館を中心とした生涯学習によるまちづくりを推進していくため、地域総がかりで子どもたちが活躍する場を創出し、地域・学校・家庭・行政が連携、協働し、子どもたちの学びや育ちを支える。</p>		
実施状況・成果	<p>1 地域づくりの推進</p> <p>(1) 婦人会事業への支援</p> <p><u>令和2年度実施事業 20回 (目標値：年間11回以上)</u></p> <p>地域の課題を解決するため、各地域コミュニティ団体の活動支援を行った。</p> <p>(2) 公民館運営審議会の開催 (再掲)</p> <p><u>公民館運営審議会の開催 令和2年度 23回 (目標値：年間25回以上)</u></p> <p>(3) 人権教育講座及び人権教育指導者養成講座の開催</p> <p><u>令和2年度実施回数 9回 (目標値：年間22回以上)</u></p> <p>市民一人一人が人権問題を正しく理解し、人権感覚を身に付け、人権を尊重し合う共生社会の実現に努めた。</p> <p>2 地域学習の推進</p> <p>(1) 萩ユネスコ協会文化講演会の開催</p> <p><u>令和2年度来場者数 68人 (目標値：年間100人以上)</u></p> <p>地域の歴史、文化、自然、産業等について、次世代に語り継ぐことの大切さ、地域の遺産を見つめ直す講演となった。</p> <p>(2) 伝統芸能・地域文化教室の支援 (再掲)</p> <p>実施小学校数 18校 (100%)</p> <p>3 青少年の地域に関わる体験活動等の推進</p> <p>(1) ジュニアリーダーズクラブ事業の開催</p> <p><u>令和2年度実施回数 7回 (目標値：年間10回以上)</u></p> <p>様々な活動を通じて、社会の一員として社会貢献することの意義や責任を学</p>		

び、子ども会活動の企画・運営を担った。

(2)家庭の日カレンダーの小中学校への配布

令和2年度小学校新入生への家庭の日クリアファイル配布率 100%

(目標値：100%)

毎月第3日曜日の「家庭の日」について、家族がふれあう時間を共有し、コミュニケーションを図ることを目的に、各地域の青少年育成市民会議を通じ、市内全小学校に啓発グッズを配布した。

(3)親学講座、子育て講座、保護者カフェの開催（再掲）

令和2年度実施回数 37回（目標値：年間70回以上）

（子育て講座26回（内保護者カフェ7回） 親学講座11回）

令和2年度参加者数 717人（目標値：2,200人以上）

(4)放課後子ども教室を開催する小学校の割合

令和2年度割合 88%（目標値：100%）

それぞれの小学校区において、地域の特色を生かした放課後子ども教室を開催した。

(5)子ども会事業への支援

実施回数 38回（目標値：年間25回以上）

少子高齢化が進み子ども会離れが進む中、各公民館が子ども会事務局を務め、指導者、育成者と共に工夫を凝らした取組を行った。

4 地域協育ネットの推進

(1)伝統芸能・地域文化教室を実施する小学校の割合

令和2年度 100%（目標値：100%）

(2)親学講座、子育て講座、保護者カフェの開催（再掲）

令和2年度実施回数 37回（目標値：年間70回以上）

（子育て講座26回（内保護者カフェ7回） 親学講座11回）

令和2年度参加者数 717人（目標値：2,200人以上）

(3)放課後子ども教室の開催（再掲）

実施回数 910回（目標値：年間1,150回以上）

(4)地域協育ネット活動を実施する中学校区の割合

令和2年度 100%（目標値：100%）

幼児期から中学校卒業程度までの子どもの育成・学習を地域ぐるみで見守り、支援するための地域協育ネットを全中学校区に設置し、家庭・学校・地域が連携した子育て活動の推進に努めた。

<p>今後の取組</p>	<p>1 地域づくりの推進</p> <p>地域住民が自助、共助の精神をもって、地域の諸課題の解決に取り組めるよう、地域活動の拠点である公民館が中心となって、コミュニティ活動の活性化を支援する。</p> <p>また、心身ともに健全な青少年の育成に努めるため、子ども会育成団体の相互の連絡調整及び活動の充実を図るとともに、女性の教養活動を支援するため、市内単位の婦人会相互の連絡調整を図るため、公民館が中核となって、活動を牽引する。</p> <p>2 地域学習の推進</p> <p>次世代に地域の歴史や文化、自然、産業等を語り継ぐことの大切さの観点から、伝統芸能・地域文化にふれあう機会の充実を図るとともに、地域の諸課題やまちづくりへ参画するための方策を模索する。</p> <p>3 青少年の地域に関わる体験活動等の推進</p> <p>幼少期からの切れ目のない家庭支援・地域支援の積み重ねの上に構築された「地域を愛し、社会に貢献できる」人材を育成するため、文化活動やボランティア活動への青少年の積極的な参加を推進する。</p> <p>4 地域協育ネットの推進</p> <p>コミュニティ・スクールを核とし、地域協育ネットの仕組みを生かして、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを支援していくことで、自己肯定感を高め、郷土愛に満ち溢れ、地域貢献・社会貢献に参画していく子どもたちを育成する。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人口定住の活動を進める中で、県外からの移住の問い合わせも来ている。移住希望者の中には、ひとり親家庭もあり、都市部から地方に子育ての居場所を求められているのではないかと思われる。子育ての支援を地域や萩市全体でサポートできるような取組を進めてほしい。 ・家庭の日について、担当課だけで取り組むのではなく、庁内で連携して意識づける取組をお願いする。 ・伝統芸能について、子どもたちへの伝承の取組は進められているが、指導する方も高齢になっている。青年層に伝承する取組を進めなければ、子どもたちに伝える人がいなくなってしまう。伝統・文化など、地元が好きな子を増やさないと、地元に戻ってくる子が減ってしまう。

項目	生涯スポーツの推進	担当課	スポーツ振興課
目的・目標	<p>全ての市民が、競技スポーツにとらわれず、グラウンド・ゴルフやウオーキング、体操など身近に行うことができるスポーツや運動をはじめ、自分にあったスポーツを主体的に行うことができ、いきいき暮らせるまちづくりを目指します。</p>		
実施状況・成果	<p>1 幼児期の体力の向上</p> <p>(1)総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団に係る周知（広報掲載等） <u>総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団に係る活動内容や、募集の周知を行った。（目標値：年1回以上）</u></p> <p>昨年から続くコロナ禍ではあるが、新型コロナウイルス感染症対策への対応や周知などを徹底して行い、幼児や児童に対する安心・安全なスポーツ活動の場の提供を心がけた。</p> <p>2 生涯スポーツの推進</p> <p>(1)週1回以上スポーツをする成人の割合 <u>（目標値：65%以上）</u></p> <p>生涯スポーツにグラウンド・ゴルフを位置付け、総合型クラブとの協働により、大会の企画を行った。大会当日は天候不良により中止となったが、公認コースでの大会実施を企画したことにより、多くの方が公認コースで練習をされた。</p> <p>(2)体育施設の年間利用者数 <u>令和2年度 147,000人（目標値：400,000人以上）</u></p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、施設が26日間の臨時休業となり、また、スポーツ大会などの実施率は、当初の年間のスケジュールに比べ、5割以上が感染拡大防止により中止となったことから、目標には大きく届かなかった。</p> <p>また、各地域においても、スポーツ大会の開催を企画する等、スポーツに積極的に関わる取組を推進したが、なかなか参加者も集まらなかった。</p> <p>しかしながら、徹底した感染予防対策に加え、市民1人1人が、感染症に対する意識が高く、感染予防に努められたことから、施設利用者などからの感染者の発生はなかった。</p> <p>このほか、スポーツ大会等に係る情報を発信し、スポーツ活動の普及・啓発に努めた。</p> <p>3 障がい者スポーツの推進</p> <p>(1)障がい者スポーツボランティアの参加者数 <u>（目標値：100人以上）</u></p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止により障がい者大会など</p>		

	<p>の実施ができなかった。</p>
今後の取組	<p>1 幼児期の体力の向上</p> <p>至誠館クラブ等と協働し、幼児などの体力測定を行うとともに、幼児の体を動かす機会の提供に努める。</p> <p>2 生涯スポーツの推進</p> <p>グラウンドゴルフの普及・推進として、各地域の公民館やスポーツ推進委員等と協働し、大会や体験会の実施に努めるとともに、若い世代に対しても、学校・学校活動での指導を行うなど普及を努める。</p> <p>3 障がい者スポーツの推進</p> <p>社会福祉協議会や障がい者スポーツ協会と連携し、大会の実施や障がい者スポーツボランティアの育成に努める。</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止などにより、スポーツ活動や大会など、いろいろな面で規模縮小や活動範囲に制限をかけてきた。</p> <p>今後も、まだまだどのような対応になるか分からない部分が多いが、市民の皆様の安全・安心なスポーツの場の提供に努め、参加される方々のスポーツの推進に繋がっていきたい。</p>
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブ設置前から、萩市では、それぞれの地域でかなりスポーツに取り組まれている状況である。至誠館クラブでは、施設・指導者が充実しており、幼児の体操教室が行われている。今後、スポーツ少年団との取り合いにならないよう種目を調整しながら、様々なスポーツを取り入れてほしい。 ・子どもたちの体力や、ボール運動などの能力が低下している。萩市には砂浜もあるので、例えば裸足で運動するイベントなどを企画してはどうか。

項目	競技水準の向上	担当課	スポーツ振興課
目的・目標	<p>優秀な選手の育成のために、中・長期的な観点から計画的に選手及び指導者の育成等に取り組み、優れた選手と指導者の活用により、地域の競技水準の向上を目指す。</p>		
実施状況・成果	<p>1 競技水準の向上</p> <p>(1)全国大会等へ出場する選手</p> <p>令和2年度 7件（目標値：年間85件以上）</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止により多くの全国大会が中止された。</p> <p>数少ない全国大会に出場する個人及び団体に対して補助を行うことにより、優れた選手等の育成に資する取組を実施した。</p> <p>体育協会やスポーツ少年団の取りまとめ、新型コロナウイルス感染症に対する感染予防対策の周知に努め、関係団体からの感染者の発生はなかった。</p> <p>本市在住のオリンピック内定選手を支援するため、川上特設カヌー競技場の練習環境の整備及び練習日程の調整を行った。</p>		
今後の取組	<p>1 競技水準の向上</p> <p>オリンピックの開催によって高まった機運を継続できるよう、各競技団体などが行う大会への参加について、今まで以上に周知に努め、スポーツの参加率の向上を目指す。</p> <p>また、オリンピックの開催を記念するイベントとして、大会に参加した選手を招致し教室を実施するなどし、若者の育成にも努める。</p> <p>今後も引き続き萩市体育協会、スポーツ少年団、各競技団体等との連携強化及び全国大会等出場者への支援に努める。</p>		
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ではあるが、できることをしっかり実施されているので、今後も取組を継続してほしい。 ・川上小中学校では、体育の授業でカヌーを実施されており、地域をあげて、競技水準の向上に努められていると聞いている。こうした取組により、今後も競技水準の向上、オリンピック選手の輩出を期待する。 ・近い将来、中学校の部活動が学校から地域へと移行される。競技力向上のためにも、指導者の育成を図り、部活動で萩市の学校から他市への流出を防ぐことも必要である。 		

項目	スポーツ人材の育成	担当課	スポーツ振興課
目的・目標	<p>次代を担う子どもたちの心身をスポーツによって健やかにたくましく育むとともに、公正・規律を尊ぶ人間性の涵養^{かんよう}に取り組む。また、スポーツ指導者やボランティア等スポーツを支える人材を育成する。</p>		
実施状況・成果	<p>1 将来のスポーツ活動を担う人材の育成</p> <p>(1) 小学4～6年生のスポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブ等加入率 <u>令和2年度 37.1% (目標値：40%以上)</u></p> <p>スポーツ少年団や体育協会加盟団体の指導者に対し、本年度は指導者講習会を実施することができなかった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に関しては、体育協会やスポーツ少年団に対して、感染予防対策の周知に努め、関係団体からの感染者の発生はなかった。</p> <p>2 地域のスポーツを支える人材の育成</p> <p>(1) スポーツボランティアの参加者数 <u>令和2年度 50人 (目標値：年間累計1,600人以上)</u></p> <p>萩城下町マラソンや、萩市民駅伝大会を企画し大会の実施に向け、実施方法や大会規模などを検討のうえ開催に当たり、延べ約1,500名以上のスポーツボランティアや地域住民のボランティアの方々に協力を依頼していたが、大会直前で大会の中止となった。</p> <p>スポーツ推進委員の研修会も、県、中国地方、全国での研修会は中止となったが、各自で自己研鑽^{けんざん}に努めた。</p>		
今後の取組	<p>1 将来のスポーツ活動を担う人材の育成</p> <p>指導者の育成について、引き続きスポーツ少年団指導者連絡協議会や体育協会と協働するとともに、大学などの教育機関とも積極的に連携を図り、指導者の育成に努める。</p> <p>2 地域のスポーツを支える人材の育成</p> <p>スポーツボランティアの育成について、広報はぎの活用やSNS等による周知のほか、気軽にボランティアに参加できるスポーツイベントの開催に努める。</p> <p>スポーツ推進委員については、各地域でのスポーツ活動のボランティアにとどまるのではなく、積極的な自主活動でのスポーツ推進が求められることから、今後も研修会への参加を呼びかけるなど、主体的な活動につながるよう支援に努める。</p>		
学識経験者の	<p>・スポーツ少年団指導者の養成について、講習などしっかり行ってほしい。また、</p>		

意見	<p>新型コロナウイルス感染症対策についても、各スポーツ団体に指導をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none">・スポーツ少年団等への加入率40%の目標はなかなか難しいと思われる。特に、保護者の負担として、市外遠征時などの車当番の問題があり、土日がお勤めの家庭の協力が難しいため、特定の保護者に負担がかかるという話を耳にする。例えば、バスの補助などを検討してほしい。
----	---

項目	スポーツの推進による交流人口の拡大及び地域の活性化	担当課	スポーツ振興課
目的・目標	地域特性を考慮し、スポーツの有する多様な可能性を活用するとともに、市民が主体となって推進されるスポーツ活動の環境づくりへの取組を通じ、交流人口の拡大による地域の活性化を促進する。		
実施状況・成果	<p>1 スポーツの推進による交流人口の拡大及び地域の活性化</p> <p>(1) スポーツイベントの参加者数</p> <p>令和2年度 200人（目標値：年間累計6,000人以上）</p> <p>本市のスポーツ振興の主要事業である萩城下町マラソン、萩往還ワンデーウオークのほか、競技団体等が実施する大会等に対して支援を行った。</p> <p>しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、萩城下町マラソンや萩市駅伝競走大会などの多くのスポーツイベントや大会は中止となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内スポーツイベントの運営に係る補助・支援 <ul style="list-style-type: none"> ① 萩城下町マラソン大会 <p>通常の大会から代替大会を1,000人規模で予定したが、大会直前での感染状況により中止した。</p> <p>しかし、参加を予定していた選手などはコースでの練習を行うなど、市民へのスポーツの復帰へのきっかけ作りともなった。</p> ② 萩往還ワンデーウオーク <p>通常の萩往還での大会は中止とし、中央公園をスタート・ゴールとする市内周遊コースで、参加募集定員の200名での実施となった。</p> <p>参加者からは好評であった。</p> <p>※このほか駅伝大会なども通常どおりの大会は中止となったが、コース変更や規模などを検討し、実施できる大会は実施してきたが、直前での市内や周辺での感染状況により中止となった大会も多かった。</p> ・世界大会等キャンプ地誘致推進事業 <p>オリンピック競技大会がコロナ感染症の拡大により一年延期された。キャンプ地誘致に関しては、外国からの選手の招致となるが、オリンピックの開催を見据え選手とコンタクトを取るなど継続的に行った。</p> ① キャンプ地の誘致活動に合わせ、山口県カヌー協会に委託し、カヌー体験教室を実施した。 		

	<p>開催実績 5月から11月まで全148回 延べ308人参加（前年比 参加者59名増）</p>
今後の取組	<p>1 スポーツの推進による交流人口の拡大及び地域の活性化</p> <p>地域の観光資源の創出、地域におけるスポーツの振興等を図るため、引き続き、各競技団体と連携・協力し、スポーツ大会等の実施を支援する。</p> <p>萩城下町マラソン大会、萩往還ワンデーウォーク、駅伝大会等のスポーツイベントについては、市外からの参加者も多く、地域の活性化を図る目的においても重要であるため、引き続き開催を支援する。</p> <p>オリンピックの開催により、市民のスポーツに対する関心が高まった状態を継続できるよう、各競技団体などと協働し、今まで以上にスポーツ教室の実施などに努める。</p> <p>また、オリンピック出場選手との交流イベント等による若者の育成等に努める。同時にカヌー体験教室の実施により、地域住民等にカヌー競技が親しまれるよう、周知活動に努める。</p>
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍におけるスポーツイベントの開催については、人数制限や参加者の居住地の制限など、感染拡大防止対策をしっかりと行って実施してほしい。 ・カヌー体験教室は、市外から人を呼び込むことができるイベントの一つである。せつかくの施設であるので、しっかりと活動を行ってほしい。あわせて、カヌー指導者の確保をお願いする。 ・コロナ禍におけるイベント実施のあり方について、考える時期に来ている。従来規模にとらわれず、実施可能なイベントを検討してほしい。

項目	図書館運営を通じた官民協働及び読書活動の推進	担当課	萩図書館
目的・目標	NPO萩みんなの図書館との協働や地域住民のボランティアの活用により、市民の豊かな知識や経験、技能等を図書館運営に生かした共助による読書活動を推進する。		
実施状況・成果	<p>1 NPO萩みんなの図書館との協働による図書館運営</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時休館（4/18～5/10 23日間） ・19時閉館（4/1～4/17 17日間） （5/11～6/10 31日間） ・20時閉館（6/11～7/10 30日間） <p>萩図書館運営実績等（前年比）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 利用者数 70,441人（△8,056人） ② 貸出点数 241,693点（△16,796点） ③ レファレンス件数 295件（△297件） ④ 受入蔵書数 6,383冊（△2,472冊） ⑤ 受入電子書籍数 376冊（+354冊） ⑥ NPO職員主催行事 110回（△36回） ⑦ NPO職員主催展示 55回（△9回） <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のための措置により、利用者数や行事等の開催数が減少した。</p> <p>2 NPO会員による自主活動</p> <p>環境美化班、読み聞かせ班、イベント班、図書整理班、寄贈本仕分班、歴史関係読書班、喫茶運営班、楽しい音読班等の自主活動として、おはなし会、図書館まつり、古本市等の開催のほか、門松づくり、季節ごとの環境整備等を実施した。</p> <p>喫茶・軽食コーナー「カフェぶらり」は、座席数を減らすなど、コロナ対策を万全にし、市民交流の場として幅広い層に利用された。新型コロナウイルス感染症の影響で、営業利益は赤字となったが、市民の憩いの場として利用された。常設古本コーナー「ブックぶらり」においては、寄贈本の有効活用が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 会員数 102名 (2) 活動班 8班 (3) NPO会員主催行事・活動 		

	<p style="text-align: center;">(前年比)</p> <p>①おはなし会 32回 338人 (△7回 △139人)</p> <p>②わくわくキッズフェスタでの読み聞かせ 42人 (△10人)</p> <p>③市民向け音読会 5回 36人 (+2回 +16人)</p> <p>④市民病院の図書整理 6回 (±0)</p> <p>3 レファレンス専門員の活用</p> <p>郷土史、維新史等に関する知識を生かし、レファレンス対応を行った。毎年開催していたミニ郷土史講座「夏の歴史館」は、コロナ禍により開催できなかった。</p> <p>専門員によるレファレンス対応 89日 17件 延べ17人 (前年比 △8日 ±0件 ±0人)</p> <p>ミニ歴史講座 未開催 (前年比 △6回 △258人)</p>
<p>今後の取組</p>	<p>1 NPO萩みんなの図書館との協働による図書館運営</p> <p>図書館業務の更なる充実及び効率化を図り、継続して職員の資質向上に努め、幅広い分野の選書に努める。</p> <p>2 NPO会員による自主活動</p> <p>各班での自主活動をより活発化し、図書館運営を支える。</p> <p>3 レファレンス専門員の活用</p> <p>郷土史及び維新史関係のレファレンス等への対応を行うとともに、ミニ郷土史講座「夏の歴史館」を引き続き開催する。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電子書籍を利用したことがあるが、便利であり、また、絵が動いたりして、子どもが読書に興味を持つきっかけになる。電子書籍の利用について、保護者等への周知をお願いします。 ・図書館を利用する学生のマナーについて、以前は苦情が多かったと聞いている。コミュニティ施設の機能もあるため、多少は仕方がないことは理解できるが、利用者のマナーについて啓発をお願いします。

項目	家庭・地域・学校・図書館での子どもの読書活動の推進	担当課	萩図書館																																							
目的・目標	家庭、地域、学校及び図書館の役割の明確化並びに当該役割に応じた主体的な取組の推進を図るとともに、相互連携のためのネットワークの構築を行う。																																									
実施状況・成果	<p>1 家庭・地域での読書活動推進</p> <p>(1) ネットワーク化によるサービスの推進</p> <p>市内3図書館が有する資料の共同利用によるサービスの提供</p> <p>相互貸借の貸出数 (前年比)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="padding-left: 40px;">萩図書館 → 須佐図書館</td> <td style="padding-left: 20px;">1, 205冊</td> <td style="padding-left: 20px;">(+205冊)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 60px;">→ 明木図書館</td> <td style="padding-left: 20px;">1, 191冊</td> <td style="padding-left: 20px;">(+12冊)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 60px;">→ その他</td> <td style="padding-left: 20px;">129冊</td> <td style="padding-left: 20px;">(+17冊)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">須佐図書館 → 萩図書館</td> <td style="padding-left: 20px;">1, 176冊</td> <td style="padding-left: 20px;">(+416冊)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 60px;">→ 明木図書館</td> <td style="padding-left: 20px;">213冊</td> <td style="padding-left: 20px;">(+77冊)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 60px;">→ その他</td> <td style="padding-left: 20px;">29冊</td> <td style="padding-left: 20px;">(+17冊)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">明木図書館 → 萩図書館</td> <td style="padding-left: 20px;">998冊</td> <td style="padding-left: 20px;">(△9冊)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 60px;">→ 須佐図書館</td> <td style="padding-left: 20px;">171冊</td> <td style="padding-left: 20px;">(△47冊)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 60px;">→ その他</td> <td style="padding-left: 20px;">30冊</td> <td style="padding-left: 20px;">(+11冊)</td> </tr> </table> <p>3館が有する資料を共同利用したことにより、貸出数が伸びた。</p> <p>(2) 10ヶ月児健康相談での読書案内及びハローブック事業の啓発</p> <p>9回 参加者 67組 (前年比 △1回 △35組)</p> <p>(3) 移動図書館車による保育園等への巡回及び読み聞かせの実施</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="padding-left: 40px;">巡回・貸出</td> <td style="padding-left: 20px;">17園</td> <td style="padding-left: 20px;">8, 189冊 (前年比 △1園 △7, 841冊)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">読み聞かせ</td> <td style="padding-left: 20px;">4園</td> <td style="padding-left: 20px;">84回 (前年比 △1園 △19回)</td> </tr> </table> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止等により、萩図書館は7回、須佐図書館は4回巡回を休んだため、減少した。</p> <p>2 学校での読書活動推進</p> <p>(1) 団体貸出の実施 (前年比)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="padding-left: 40px;">貸出実績 ①萩図書館</td> <td style="padding-left: 20px;">21校</td> <td style="padding-left: 20px;">5, 766点 (+615点)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 60px;">②須佐図書館</td> <td style="padding-left: 20px;">4校</td> <td style="padding-left: 20px;">836点 (△1, 170点)</td> </tr> </table>			萩図書館 → 須佐図書館	1, 205冊	(+205冊)	→ 明木図書館	1, 191冊	(+12冊)	→ その他	129冊	(+17冊)	須佐図書館 → 萩図書館	1, 176冊	(+416冊)	→ 明木図書館	213冊	(+77冊)	→ その他	29冊	(+17冊)	明木図書館 → 萩図書館	998冊	(△9冊)	→ 須佐図書館	171冊	(△47冊)	→ その他	30冊	(+11冊)	巡回・貸出	17園	8, 189冊 (前年比 △1園 △7, 841冊)	読み聞かせ	4園	84回 (前年比 △1園 △19回)	貸出実績 ①萩図書館	21校	5, 766点 (+615点)	②須佐図書館	4校	836点 (△1, 170点)
萩図書館 → 須佐図書館	1, 205冊	(+205冊)																																								
→ 明木図書館	1, 191冊	(+12冊)																																								
→ その他	129冊	(+17冊)																																								
須佐図書館 → 萩図書館	1, 176冊	(+416冊)																																								
→ 明木図書館	213冊	(+77冊)																																								
→ その他	29冊	(+17冊)																																								
明木図書館 → 萩図書館	998冊	(△9冊)																																								
→ 須佐図書館	171冊	(△47冊)																																								
→ その他	30冊	(+11冊)																																								
巡回・貸出	17園	8, 189冊 (前年比 △1園 △7, 841冊)																																								
読み聞かせ	4園	84回 (前年比 △1園 △19回)																																								
貸出実績 ①萩図書館	21校	5, 766点 (+615点)																																								
②須佐図書館	4校	836点 (△1, 170点)																																								

③明木図書館 3校 844点 (△204点)

須佐図書館の新規受入冊数や蔵書数が少ないため、須佐図書館から田万川中学校図書館への貸出を、萩図書館からの貸出に変更した。そのことにより、須佐図書館が減少し、萩図書館が増加した。明木図書館は新型コロナウイルス感染拡大防止のための30日間の休館により、小学校からの依頼が減ったため、減少した。

(2) 小学校及び中学校に対する調べ学習用資料の貸出 (新規事業)

貸出実績 ① 小学校 18回 310冊

② 中学校 10回 170冊

(3) 移動図書館車の学校への巡回、読み聞かせ及び出前講座の実施による読書の推進

移動図書館巡回実績 (前年比)

① 萩図書館 15校 貸出 6,515冊 (+68冊)

(読み聞かせ 3校 61回) (△1校 △5回)

② 須佐図書館 4校 貸出 3,681冊 (+385冊)

読み聞かせ開催実績 (前年比)

① 須佐図書館 1校 16回 (△10回)

② 明木図書館 2校 6回 (△6回)

小学校教員の出張時に読み聞かせを依頼されていたが、教員の出張減により、依頼が少なくなったため、減少した。 (前年比)

出前講座開催実績 ① 萩図書館 3校 3回 (△2校 △6回)

② 明木図書館 1校 1回 (+1校 +1回)

3 図書館での読書活動推進

(1) おはなし会、子ども向け行事等の開催 (前年比)

開催実績 ① 萩図書館 140回 1,281人 (△16回 △1,277人)

② 須佐図書館 9回 441人 (△10回 △296人)

③ 明木図書館 36回 342人 (△52回 △674人)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、おはなし会等の行事を中止した。

(2) 読書通帳の活用

読書通帳発行部数 年間 303冊 (前年比 △4冊)

今後の取組

1 家庭・地域での読書活動推進

(1) 萩図書館、須佐図書館及び明木図書館の資料の共同利用を積極的に行い、効

	<p>率よく資料提供できるよう努める。</p> <p>(2) 移動図書館及び10ヶ月児健康相談等での読書案内、おはなし会等、館外での読書啓発を継続して実施する。</p> <p>2 学校での読書活動推進</p> <p>小学校に向けた单元ごとの調べ学習用図書の貸出で学校支援の更なる充実を図る。ブックトークやビブリオバトル、ライぶらりなどの出前講座を積極的に行い、読書への動機付けとなる機会を増やしていく。</p> <p>3 図書館での読書活動推進</p> <p>(1) 図書館行事及びテーマに沿った図書展示等を継続して行い、子どもの読書活動普及に努める。</p> <p>(2) 10ヶ月児健康相談に出向き、読書通帳を活用したハローブック事業の推進を図り、読書啓発に努める。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動図書館の利用が減少しているので、現状分析し、貸出しが増えるような検討を進めてほしい。 ・ 図書館には、Wi-Fi、学習室が整備されており、子どもの勉強スペースとして、よく利用させてもらっていた。遠距離の子育て世帯には、ありがたい施設なので、こうした中高生の利用状況についても、報告書に記載してもよいのではないかと。 ・ ビブリオバトルは、小学生だけでなく、中学生、高校生にも、是非やってほしい。

項目	子どもの読書活動推進のための環境整備及び推進者への支援	担当課	萩図書館
目的・目標	子どもに読書の習慣をつけさせるとともに、知識及び想像力を養うため、資料の充実及び施設等の整備を推進する。また、読書活動を支援する専門的職員の資質向上及び学校等で活動する読書ボランティアへの支援を図る。		
実施状況・成果	<p>1 蔵書の充実</p> <p>子どもの発達段階に応じた乳幼児コーナー、児童コーナー及びティーンズコーナー並びに外国語を母国語とする子どものための外国語図書コーナーを設置する等、蔵書の充実を図っている。 (前年比)</p> <p>児童図書の新規受入数 ① 萩図書館 1, 341点 (△842点)</p> <p>② 須佐図書館 339点 (+13点)</p> <p>③ 明木図書館 243点 (△30点)</p> <p>受入数の減少は資料単価の値上がりによるもの。</p> <p>2 特集展示の充実</p> <p>① 萩図書館 58回 ② 須佐図書館 18回 ③ 明木図書館 21回</p> <p>3 電子図書の充実及び利用促進</p> <p>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金300万円で電子図書を充実した。パソコン、スマートフォン、タブレット端末等で閲覧することができる動く絵本や外国語で書かれた児童書のほか、児童生徒の調べ学習に役立つコンテンツの充実を図り、利用促進に努めた。 (前年比)</p> <p>電子図書利用実績等 ① 新規購入数 376点 (+192点)</p> <p>② 貸出数 2, 251回 (+194回)</p> <p>③ 閲覧数 2, 770回 (+328回)</p> <p>300万円の交付金により、電子図書356点を整備し充実。図書館に来館せずとも利用できるため、電子図書の貸出数は増加。</p> <p>4 読書に障がいのある子どもへのサービス</p> <p>2019年6月に「読書バリアフリー法」が成立し、合理的配慮が義務化されたことから、点字図書、音声図書、拡大文字図書、LLブック、布の絵本、マルチメディアデージー図書等 (以下「点字図書等」という。) を充実した。活字を読むのが難しい子どもが利用できる読書環境の整備を行っている。新たにマルチメディアデージー図書が視聴できる機器を設置し、バリアフリーコーナーの充実を図った。</p>		

(前年比)

点字図書等所蔵数	点字図書	44冊 (+4冊)
	音声図書	86点 (+57点)
	拡大文字図書	45冊 (±0冊)
	LLブック	20冊 (+5冊)
	布の絵本	36点 (±0点)
	マルチメディアデジター図書	42点 (+10点)

5 読書活動ボランティアの活動支援

コロナ禍のため、予定していたボランティア対象の修理本講座や手袋人形づくり講座、子ども読書活動推進委員会はすべて中止となった。

6 図書館職員の資質向上

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの研修が中止となったが、その中でも子どもと本を結びつける技術の向上を図るため、研修等に参加した。

(前年比)

研修参加実績	① 萩図書館	外部研修への参加	4回 (△20回)
		館内研修の実施	17回 (△1回)
	② 須佐図書館	外部研修への参加	3回 (△1回)

今後の取組

1 蔵書の充実

子どもの幅広い知的要求に応えるため、蔵書の一層の充実に努める。

2 特集展示の充実

子どもたちの関心をひく特集コーナー作りに努める。

3 電子図書の充実及び利用促進

小中学校でタブレット端末の利用が開始されることから、市内全ての児童生徒に電子図書館利用のためのID・パスワードを発行する。電子図書館の利用を促進するために、学校への出前講座を積極的に行い、電子図書館の利用促進に努める。

4 読書に障がいのある子どもへのサービス

LLブックや点字図書等の資料を充実する。市内小中学校、支援学校やドリームスクールはぎ、ピアサポートセンター香生の里等の福祉施設などに、バリアフリーコーナーの周知に努める。

5 読書活動ボランティアの活動支援

萩市内の読書活動団体及び学校図書館支援員との連携強化を図り、研修会等の開催による資質向上及び人材育成に努める。

6 図書館職員の資質向上

	<p>山口県立図書館等が実施する外部研修等やw e bで開催される研修等に積極的に参加し、子どもと本を結びつける技術の向上に一層努める。</p>
<p>学識経験者の 意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電子書籍の充実など、コロナ禍において、できることに取り組まれていると評価できる。継続して取組を進めてほしい。 ・障がいのある児童にも平等に文化施設を利用できることは大切なことであり、点字図書などの充実はとても良いことだと思う。

項目	読書活動への理解と関心を深めるための啓発活動	担当課	萩図書館																																				
目的・目標	読書の意義及び重要性について、各関係機関と連携を図りながら、講演会、イベント、図書館見学、職場体験等の実施を通じ、市民の理解及び関心の醸成を図る啓発活動を進める。																																						
実施状況・成果	<p>1 各機関との連携</p> <p>児童館やNPO法人読書普及協力チーム山口等、各機関との連携事業及び行政職員への積極的な情報提供の実施</p> <p>(1)各機関と連携して事業を実施</p> <p>連携機関 児童館、至誠館大学、税務署、児童クラブ、市役所各課、NPO法人読書普及協力チーム山口など</p> <p>(2)行政職員へ毎月新刊情報を提供</p> <p>2 図書館見学及び職場体験の受入れ</p> <p>小学生の図書館見学及び中学生等の職場体験の受入れを実施 (前年比)</p> <p>受入実績 ① 萩図書館 見学4回、職場体験7人(+2回、△9人)</p> <p>② 須佐図書館 見学4回(±0回、△1名)</p> <p>③ 明木図書館 見学3回(△2回)</p> <p>3 啓発・広報活動の推進</p> <p>読書活動及びイベントに関する情報をホームページやブログ、地域メディア等を利用して発信するとともに、イベント等の開催や展示のほか、萩図書館内に職員おすすめの本のコーナーを設置するなど、読書活動の推進の広報に努めた。</p> <p>イベント等の開催実績 (前年比)</p> <p>①萩図書館</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>行事</td> <td>一般向け</td> <td>31回</td> <td>(△11回)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>児童向け</td> <td>140回</td> <td>(△17回)</td> </tr> <tr> <td>展示</td> <td>一般向け</td> <td>56回</td> <td>(+16回)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>児童向け</td> <td>60回</td> <td>(+53回)</td> </tr> </table> <p>②須佐図書館</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>行事</td> <td>一般向け</td> <td>4回</td> <td>(△4回)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>児童向け</td> <td>9回</td> <td>(△7回)</td> </tr> <tr> <td>展示</td> <td>一般向け</td> <td>15回</td> <td>(△9回)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>児童向け</td> <td>13回</td> <td>(+1回)</td> </tr> </table> <p>③明木図書館</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>行事</td> <td>一般向け</td> <td>1回</td> <td>(△2回)</td> </tr> </table>			行事	一般向け	31回	(△11回)		児童向け	140回	(△17回)	展示	一般向け	56回	(+16回)		児童向け	60回	(+53回)	行事	一般向け	4回	(△4回)		児童向け	9回	(△7回)	展示	一般向け	15回	(△9回)		児童向け	13回	(+1回)	行事	一般向け	1回	(△2回)
行事	一般向け	31回	(△11回)																																				
	児童向け	140回	(△17回)																																				
展示	一般向け	56回	(+16回)																																				
	児童向け	60回	(+53回)																																				
行事	一般向け	4回	(△4回)																																				
	児童向け	9回	(△7回)																																				
展示	一般向け	15回	(△9回)																																				
	児童向け	13回	(+1回)																																				
行事	一般向け	1回	(△2回)																																				

	<p style="text-align: center;">児童向け 36回 (△51回)</p> <p style="text-align: center;">展示 一般向け 16回 (+13回)</p> <p style="text-align: center;">児童向け 21回 (+20回)</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、計画した行事を中止した。</p>
今後の取組	<p>1 関係機関との連携</p> <p>引き続き関係機関との連携により、幅広い図書館活動を展開し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層を対象とした事業を行う。</p> <p>2 図書館見学及び職場体験の受入れ</p> <p>図書館見学及び職場体験の受入れによる図書館利用のきっかけ作りを支援する。</p> <p>3 啓発・広報活動の推進</p> <p>読書普及活動及びイベントに関する情報をホームページやSNSを使って積極的に市民へ情報発信し、関係機関、団体等への情報提供に努める。</p>
学識経験者の意見	<p>・小学生の図書館見学及び中学生等の職場体験について、良い取組であるので、周知をしっかりと行って、受入れを増やしてほしい。</p>